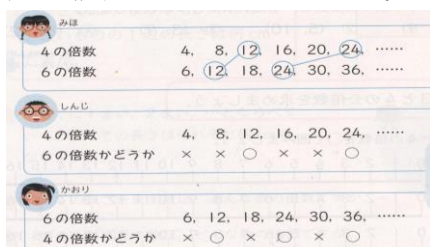


月日 (校時)	単元名	教材名
9月11日 (水) 3校時	偶数と奇数 倍数と約数	整数の性質を調べよう
本時のねらい (5 / 11) ○2つの数の公倍数を求めることができ、2つの数の公倍数は、最小公倍数の倍数になっていることを理解できる。		
評価規準 <b>考</b> 公倍数の求め方を、公倍数の意味や性質などを基に考え、説明している。(発言・ノート) <b>技</b> 公倍数、最小公倍数を求めることができる。(ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【導入】</b> <b>10:35</b>	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
<b>【展開】</b> 問題提示 <b>10:37</b> 見通し  課題把握 <b>10:40</b>  <b>10:45</b>  自力解決 集団解決  ・班学習  ・全体学習 <b>10:59</b>  ・考察 <b>11:05</b> まとめ <b>11:07</b>	1 問題を読む。 4と6の公倍数の求め方を考えましょう。  ○問題を見て前の時間と違うところ、求め方を考えましょう。 ・前の時間までは3と4の公倍数を求めたが、今日は4と6の公倍数を求めることが違う。 ・数直線に書き出して求める。 ・4の倍数と6の倍数を書き出して、共通な倍数を求める。 2 課題を把握する。 簡単に公倍数と最小公倍数を求める方法を考え説明しよう。 シラバス：(一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(8分)) 言語わざ：「つまりを使って説明する」 キーワード：公倍数 最小公倍数 4の倍数 6の倍数 共通の倍数 3 公倍数と最小公倍数の求め方について考える。  4 ○考えた事を班で伝え合って下さい。話し合いが終わった班は、ホワイトボードに考えをまとめて下さい。 5 考えたことを説明する。 ○班で話し合ったことを発表して下さい。 ・まず、4の倍数だけを書き出してその中に6の倍数が入っているかを確認できればよい。共通しているのが公倍数である。 ・4の倍数と6の倍数を書き出す。その後共通の倍数を求める。 ・公倍数は最小公倍数の倍数になっているので最小公倍数を求めると公倍数も求まる。 ○出してくれた意見の中から、 <b>簡単に</b> 求められるのはどれだと考えられますか。 ・最小公倍数を求めて、そこから、公倍数を求める方法です。理由は、最小公倍数さえ出ればすぐに計算で求めることができるからです。 簡単に最小公倍数と公倍数を求めるには、公倍数は、最小公倍数の倍数になっているので、共通の倍数から最小公倍数を求めると簡単に求まる。	・公倍数、最小公倍数の意味を確認する。  「簡単に」が今日の学習の重要なキーワードであることを伝える。  ・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようにする。*リーダー  ・言葉で説明する時は、キーワードを使って書くように伝える。 ・考え方がわからない児童には、今まで学習したベンズや数直線に書き出すように伝える。  <b>考</b> 公倍数の求め方を、公倍数の意味や性質などを基に考え、説明している。(ノート・発言)  ・二つのグループに分けて同じ意見や違う意見について話し合う。  ・公倍数は最小公倍数の倍数になっていることに気づかない場合は、教師から促す。
<b>【終末】</b> ふりかえり 適用問題	5 学習したことを振り返る。  6 問題を解く。教科書 p 84 △4	・キーワードを使って振り返りを書くように促す。 <b>技</b> 公倍数、最小公倍数を求めることができる。(ノート)